



古志原小学校だより

令和5年度No.8

えがおいっぱい

9月5日

(文責 校長 小林 敏朗)

8月29日(火)から2学期が始まり、元気な子どもたちの顔、声が学校に帰ってきました。その日の朝、昇降口で子どもたちを出迎えると、元気にあいさつをする子、しっかりと日焼けをした子、私と出会うなり夏休みの思い出を突然話し出す子、背がぐ〜んと伸びている子などが見られました。みんな、充実した夏休みを過ごしたのだらうなと感じました。およそ40日の夏休み、保護者の皆様には大変お世話になりました。おかげさまで、大きな事故やケガもなく、子どもたちが元気に登校できました。ありがとうございました。

今年の夏はとても暑い日々でした…と過去形で本当は書きたかったのですが、まだまだ暑い日々が続いています、続きそうです。当分の間、学校でも熱中症にも気をつけながら学習や活動に取り組んでいきます。そして、登校日数が79日の2学期が、子どもたち一人一人にとってさらなる成長につながるよう教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

始業式から…

8月29日(火)の朝、体育館で始業式を行いました。今回の始業式では3つのことを話しました。

今年の夏は暑かったね。夏休みは元気に過ごしましたか？

いよいよ今日から2学期のスタートです。2学期、6年生は修学旅行、5年生は連合音楽会、全校では「古志原っ子発表会」があります。

この2学期、みんなにがんばってほしいこと、それは「聴きながら考える」「考えながら聴く」ということです。先生や友達の話にはたくさんの考えるヒントがあります。先生や友達の話をしっかり聴いてほしいと思います。

これから3つのことをお話しします。聴きながら考え、考えながら聴いてください。

まず一つ目は、アメリカに伝わるお話です。

靴を売る会社に、靴を売って歩くAさんとBさんがいました。みなさんなら、どちらの人になるか、考えながら聴いてください。

ある時、この2人は、遠く離れた南の島に靴を売りに行くことになりました。島に着くと、2人にとって予想外の状況が待ち受けていたのです。何と、その島の人たちはみんな、靴を履いていなかったのです。

その様子を見たAさんはがっかりしながら、会社に電話しました。

「社長、えらいところに来てしまいました。私たちにとっては、全く用のないところですよ。ここでは、靴は売れません。だって、みんな裸足なのですから。」と。

一方のBさんは、興奮しながら急いで会社に電話しました。

「社長、素晴らしいところへ来ました。ここでは、靴を誰も履いていません。靴のよさをわかってもらえたら、たくさんの靴が売れます。急いで、ありったけの靴をこの島に送ってください。」と。

AさんとBさんの違い、どう思いましたか？Aさんのように「靴は売れません」とすぐにあきらめてしまうか。Bさんのように「靴が売れるチャンス」と考えるか。とても大きな違いですよ。ピンチを前向きに考え、チャンスに変えたBさんの会社はきっと大成功したことでしょう。

みなさんは「うまくいかないな」と感じた時、「もうダメだ。」とあきらめてしまうのか、それともチャンスだと思って、前向きになるのか、どちらですか？それを決めるのは、自分の心次第です。自分の心次第で、考え方は変わります。乗り越えようとがんばった先には自信がついた自分が待っています。

2学期の学習や行事に前向きに、そして粘り強く取り組んでいきましょう。先生たちは皆さんの応援団です。いつも応援しています。

二つ目の話は、7月に地域の方から、登校中に横断歩道をわたり終えたときに見守り隊の方に「ありがとうございます」という子がいること、下校中に横断歩道で止まってくれた車に「ありがとうございました」

と礼をする子がいることを聞いていたので紹介しました。三つ目は「きまり・約束・ルール」は「みんなの安全を守るため」「みんなが気持ちよく生活するため」にあるという話をしました。

2学期は、1年間の中で一番長い学期であり、日々の学習やいろいろな行事、校外に出かける活動などもあり、子どもたちが成長するチャンスが数多くあります。その中で、何かの壁に出合った時、すぐにあきらめるのではなく、前向きに粘り強く取り組んでほしいこと、心次第で考え方も変わり乗り越えられることを子どもたちにわかってほしいと思っています。このことは、学校だけでなく保護者の皆様にもご家庭で、折に触れて子どもたちに声かけをしていただきたいなと思っています。よろしくお願いします。



最後に、子どもたちはこの始業式のお話をとても静かに真剣に聞いていました。そういう子どもたちを見て、私自身もうれしく思いました。これからも「聴きながら考える」「考えながら聴く」ことが続いていくよう指導、支援をしていきたいと思っています。

身体測定・養護教諭のお話から・・・

始業式の朝、昇降口で出会った子どもで「大きくなったな」と思った子が結構いました。その後、廊下や階段ですれ違う子どもの中にも「背が高くなったな」と思う子どもも多くいました。この夏休みを通して、子どもたちの身体も成長していることが感じられました。学校では、8月30日(水)から身体測定をしています。31日(木)の朝には「校長先生、ぼく4.1cm背が伸びてたよ!」とうれしそうに報告(?)に来てくれた子どももいました。きっと、どの子どもも大きくなっていることでしょう。また、身体測定の後、養護教諭の山口先生から「早寝・早起き・朝ごはん」や生活のリズムの話をしていただいています。夏休みの生活がどうだったかわかりませんが、まずは、生活のリズムを整え、そのためには早寝、早起きをして朝ごはんをしっかりと食べ、学校では学習や活動などに集中して取り組めるようになってほしいなと思います。ご家庭でも、必要に応じて声かけをお願いします。



「親子ふれあい掃除デー」から・・・

8月19日(土)の早朝、本校PTA環境部主催の「親子ふれあい掃除デー」を実施しました。当日は、親子含めておよそ200名の皆さんにお出かけいただきました。この夏はとても暑かったこともあり、校舎内を中心にした作業としました(一部、外の溝掃除もしていただきました)。校舎内では、廊下や階段の床や壁の汚れを取ったり磨いたり、トイレ掃除をしたりしていただきました。特に、普段なかなか手の届かないところの掃除では保護者の皆様に変なお世話になりました。おかげさまで、床や壁、トイレなどがとてもきれいになり、気持ちのよい環境の中、2学期のスタートを迎えることができました。お忙しい中、お出かけいただきました皆様、本当にありがとうございました。



お知らせ

本校の地域コーディネーターを勤めていただいていた雲嶋桂子さんが、ご都合によりお辞めになりました。今学期から新しく山本智恵(やまもと ちえ)さんにお勤めいただくことになりました。本校では、多くのボランティアの皆様にお世話になっております。今後ともよろしくお願いいたします。